

※ I、IIはマークシートへ解答すること。

I 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

それは、ある年の秋の終わりのことだったが、私たちは幾夜も幾夜も、屋根を鳴らしてゆく不思議な音を聞いた。そうしたある一夜、私はふと夜中に目覚めて、屋根の上を川水でも流れるような、絶え間ない、さやさや鳴る音を聞いた。それは耳を澄ますと、屋根に鳴り、庭に鳴り、私たちの家を包んで、さやさやと鳴り続けた。夜半に降り出した時雨の音であろうか。それとも、どこか夜を通して渡ってゆく渡り鳥の羽音であろうか。しかしそれは雨音にしては、あまりに絶え間なく続くのであった。

「なんだろう。風でも出たのであろうか。樟(くす)がさわめいているのだろうか。」と私は耳を澄ましてみるのだが、樟のざわめきと違って、それは、ひとときも止むことなく、高くなりも低くなりもせず、幾時間も幾時間も同じ音で鳴り続けているらしかった。

たしかに①それは、ときには、急ぎ足で空を渡ってゆく、何かせわしない季節の足音のようにも受け取れた。しかし何よりも、(a)、それは、遠くを流れる瀬音に似ていて、絶え間なく、家を包み、透明な音をたてて、夜を通して鳴り続けた。私はそうした音を耳にしなが、(b)深い眠りの中に落ちていったが、そういうとき、私のまわりを、まるで澄んだ「②」が流れていて、その音を聞きながら、体が上へ上へと浮かび上がってゆく夢を私は見るのだった。

やがて翌朝、私が廊下から外を見ると、庭も屋根も燈籠も垣根も、いちめん、一夜に落葉し尽くしたおびただしい銀杏の葉で、黄色く分厚く覆われているのだった。私は一瞬息をのんで、そのいちめんの落葉を見つめた。ちようど深い雪が、物の形を覆い隠すようにその黄色い落葉の層は、丹念にすべてを覆い尽くしていたのだ。

(c)、昨日、「昨日あたり、銀杏の葉が風につれて、透明な光の中を、ひらひらと舞い落ちていたのは、私も気がついていて。しかしそれがあある寒い晩秋の夜、羽音をたてて去ってゆく渡り鳥の群れのように、いちじに、夜を通して、ひたすら降り注ぐように散り続けていたということ、そしてそのさやさやと屋根に鳴る音が、(d)家を包んで、瀬音のように聞こえていたということ、こうしたことは、私に、自然の、限度を超えた激しい力を感じさせた。

(辻 邦生「夏の砦」による)

問一 ①「それ」とは何か。次の中から選べ。【解答番号①】

- 1 不思議な音 2 鳥の羽音 3 樟のざわめき 4 季節の足音

問二 「②」にあてはまる語を次の中から選べ。【解答番号②】

- 1 瀬音 2 川水 3 雨水 4 音楽

問三 文章前半の内容と一致するものを、次の中から選べ。【解答番号③】

- 1 自然の力の恐ろしさにおびえている様子。
 2 冷静に化学的に原因を追求しようとしている様子。
 3 静かな秋のある夜の情緒に浸っている様子。
 4 秋の夜の情緒を味わいながらも退屈している様子。

問四 どうして「私は一瞬息をのんで、そのいちめんの落葉を見つめた」のか。その理由として最も適切なものを、次の中から選べ。【解答番号④】

- 1 庭のあらゆる物がおびただしい銀杏の葉で覆われて、物のありかが全くわからなくなったから。
 2 銀杏の葉が風につれて、透明な光の中を、ひらひらと舞い落ちていたのに気がついたから。
 3 昨夜の奇妙な夢の中に不思議な音の手がかりがあったのに気がついたから。
 4 銀杏の葉で庭の様子が一変したのを見て、昨夜までの不思議な音の原因にはっと思いあたったから。

問五 空欄(a)～(d)それぞれにあてはまる最も適当な語を次の中から選べ。

- 1 たしかに 2 まるで 3 やはり 4 また

(a) 【解答番号⑤】 (b) 【解答番号⑥】 (c) 【解答番号⑦】 (d) 【解答番号⑧】

II 次の文中の「手」の意味として適切なものを後から選べ。

- ア この手の品は他にありませんか。【解答番号⑨】
イ その手は二度とくわない。【解答番号⑩】
ウ いろいろと手を尽くす。【解答番号⑪】
エ 猫の手も借りたい。【解答番号⑫】

- 1 労働力 2 方法手段 3 種類 4 策略

III 次の熟語の意味をそれぞれ選べ。

- ア 屈指 (1 服従すること 2 すぐれていること 3 指の骨折) 【解答番号⑬】
イ 吹聴 (1 言いふらす 2 大げさに言う 3 口笛を吹く) 【解答番号⑭】
ウ 遍歴 (1 年月を経る 2 巡り歩く 3 広くいきわたる) 【解答番号⑮】
エ 寄与 (1 集合する 2 いろいろと寄せ集める 3 役に立つことをする) 【解答番号⑯】

※ IV は筆記用解答用紙へ解答する「ト」。

IV 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

化石燃料の大量消費が①ユウハツする気候変動に世界が直面する可能性があるとして、気象学者は②ケイコクを続けてきた。空气中の二酸化炭素の濃度が高まると地球は温暖化し、降雨や嵐のパターンの変化や海面の上昇が③懸念される。強力な企業団体や一部の扇動者は真実を否定するが、こうした変化はあちこちで見られる。

米国は何週間もひどい干ばつに苦しんでいる。穀倉地帯の中西部と大平原はすさまじい熱波に襲われ、干ばつが国土の半分以上におよぶような非常事態に④オチイっている。遠く離れた北京では豪雨となり、洪水で多くの人が死亡した。日本でもしばしば記録的な集中豪雨がある。アフリカ大陸の東端部とサハラ砂漠南縁部という2つの貧しい半⑤カンソウ地帯でも過去2年間、大⑥ギボな干ばつと飢饉が発生。計数千人が餓死、なお数百万人が飢えている。

いまの米国の熱波、北京の大洪水、アフリカの干ばつは偶然の天候不順なのか、人類が引き起こした長期的な気候変動の結果なのだろうか。長い間、科学者はこの質問に答えることができなかった。だが最近、検出と原因特定という気象学の新分野が理論と実証の両面で大きな進歩を見せた。この1年間の調査の結果、発生する⑦頻度が上がった熱波などの異常気象から長期的な気候変動の証拠が検出された。最先端のモデルを利用した研究では、異常気象の一部について原因が⑧ジニイ的であると特定した。

地球という共同体の⑨コウセイ員として人類はこれから四半世紀のうちに、化石燃料に⑩インゾンする経済から低炭素エネルギー技術を活用する経済に移行しなければならぬ。ところがどの国でも政治家は及び腰だ。科学的な証拠と技術のノウハウが、政治家の⑪優□□や非科学的な宣伝に勝ることができるかどうかは人類の存続がかかっているのだ。
(日経新聞記事より)

問一 傍線部①～⑩のカタカナは漢字に直し、漢字はカタカナで読みを書け。

問二 傍線部⑪の□に漢字を入れて、「ぐずぐずしていて決断力が無い」という意味の四字熟語を完成させよ。

問三 この質問に答える について、「この質問」とその「答え」をまとめた次の文の空欄に、適切な漢字2字の語を入れよ。

最近の（ア）気象の多発は、人類が化石燃料を（イ）消費することによって空気中の二酸化炭素濃度が高まり、地球（ウ）化が進んだことが、一つの原因である。